

社会基盤工学

教科	工業	単位数	3	学科・学年・コース	建設工学科（土木類型）3年生（選択）
使用教科書	「社会基盤工学」（実教出版）		副教材等	教科担当者が作成したプリント	

◇ 学習の到達目標 ◇

社会基盤整備に関する知識と技術を習得し、自然環境の調和を図り、実際のまちづくりなどに活用する能力と態度を育成します。

◇ 科目の特色 ◇

土木事業に関する技術史、土木と人々の生活とのかかわり、土木が産業や経済に果たしている役割や環境保全、災害の防止に果たす役割について学習します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4 6	第1章 暮らしと社会基盤 1) 社会基盤の整備と土木事業 2) 暮らしを支えてきた土木技術 3) 国土計画と社会基盤の整備	・社会基盤工学の学習の意義や役割について学習する。 ・暮らしを支えてきた土木技術の歴史を古代から現在まで学習する。また土木技術の歴史から技術者としての使命について学習する。 【前期中間考査】
7 9	第2章 交通・運輸 1) 交通と運輸のあらまし・道路・鉄道 2) 空港・都市交通施設	・交通、運輸についての意義や役割について学習する。 ・交通需要と輸送機関の特性を理解し、交通計画の立て方、道路、鉄道、空港等の計画について詳しく学習する。 【前期期末考査】
10 12	第3章 水資源 1) 水と人とのかかわり・利水・治水・生活用水と排水	・利水、治水、水環境の意義や役割について学習する。 ・人と水のかかわりについて、わが国と他国と比較する。特に木曾三川の宝暦治水について詳しく学習する。 【後期中間考査】
1 2	第4章 暮らしとまちづくり 1) 都市と都市計画 都市の再生・エネルギーの整備 2) 災害と防災・循環型社会の形成	・都市としてのまちづくりと、21世紀の都市計画や防災について学習する。特にここでは、緑豊かなまちづくり、エネルギー問題を考えたまちづくり、災害に強いまちづくりをこれに沿って学習する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	社会基盤工学に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、意欲的に取り組めるか。
思考・判断・表現	社会基盤工学に関する思考を深め、さまざまな知識と技術を活用して理論的かつ多面的に判断する能力を身に付けているか。
技能	社会基盤工学に関わる新聞記事やWEBを引用して自分の考えをまとめ、伝える事が出来るか。
知識・理解	社会基盤工学の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付けているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

①授業中における学習態度 ②ノート ③プリント ④レポート(新聞記事など) ⑤定期考査
⑥自己評価・授業評価の際に記入したプリント
また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

社会基盤（ダムや道路）については、毎日のように新聞やテレビWEBで報道されています。そういった記事を授業で活用し、社会基盤整備のあり方をみんなで考えましょう。